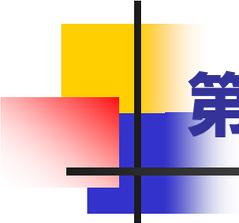


第一期都市再生整備計画について

～事業概要資料～





第一期都市再生整備計画の概要について

- ①. まちづくりの目標・整備方針
- ②. まちづくりの課題
- ③. 目標を定量化する指標・数値目標
- ④. 整備方針概要図
- ⑤. 整備効果写真

①. まちづくりの目標・整備方針

■都市再生整備計画に掲げたまちづくり目標・整備方針

■将来ビジョン

海園都市・塩竈

～海と歴史のまち・美味しい食と文化のまち・海辺と暮らすまち～

◎短期目標

「歴史の香る環境型都心居住ゾーン」「駅前賑わいゾーン」「海辺の賑わいゾーン」。3ゾーンを結ぶ中心軸の魅力向上と市街地回遊性の強化と居住促進

◎整備方針

- 1: 都市景観の高質化によるイメージアップ
- 2: 回遊ルート・手段の整備と3ゾーンの魅力向上支援
- 3: 安全で安心して暮らせる住環境の形成

②. まちづくりの課題

■都市再生整備計画策定時における当該地区の課題

課題1	交流人口の増大を図るため、地域資源を活用し、地域の魅力を最大限に発揮する必要がある。そのため鹽竈神社やマリゲート塩竈といった地域資源の連携強化を図り、個々の魅力の相乗効果、広がりのある交流空間を形成する必要がある。そのため、それら交流拠点を結ぶ中心軸（都市計画道路北浜沢乙線）をシンボルロードとして魅力ある道路空間整備を図り、回遊性強化による地域への相乗効果を高める。また、中心軸へ接続する道路についても同様に整備を図り、面的な地域全体の回遊性強化を目指すと同時に、鹽竈神社～マリゲート塩竈の回遊性強化を図るために、適切な休憩施設の配置、誘導するサインの整備を行い、北浜沢乙線整備済み区間のように”歩いてあっちへ行ってみよう”と感じさせるような都市景観を形成していく。
課題2	北浜沢乙線整備に関する市民の満足度は過半数を超えているが、今後も全線供用を目指し、さらなる市民からの高い満足度の獲得を目指す。
課題3	JR貨物ヤード跡地（海辺の賑わいゾーン）を中心とした港奥部再開発による新たな魅力ある交流拠点の形成と、安全で快適な都心居住空間の創出等を図るため、外部からの交流だけでなく、地域自体の活力を取り戻すことも必要である。そのため、土地区画整理事業の円滑な事業進捗の支援を行い、他事業と同時期の事業完了を図り、既存市街地と一体となった魅力ある賑わい空間の形成を図る。
課題4	地域のお宝として再発見された地域資源をはじめ、地域のもつ魅力を地域内外にさらに情報発信していく必要がある。

③. 目標を定量化する指標・数値目標

■目標の達成状況を明確にするために設定した指標・数値目標

指標		定義	従前値	目標値 (H22年3月)	備考
指標1	歩行者交通量(人/日)	御釜神社前、すずらん前、マリ ンゲート塩釜前及びマリ ンロードしおかぜの休日 における歩行者交通量	6,515人 (H12年度)	6,645人	
指標2	都市好感度 (アクセス数/年)	塩竈市ホームページへの 年間アクセス数	110,000 (H15年度)	150,000	
指標3	北浜沢乙線整備 好感度(%)	地域住民の北浜沢乙線の 整備に対する好感度	53.3% (H16年度)	57.6%	
指標4	地区内居住人口(人)	海辺の賑わい地区土地 区画整理事業地区内の 居住人口	123人 (H15年度)	225人	

⑤

整備効果写真

その1

■海岸通二号線



■本塩竈駅前一号線



⑤

整備効果写真

その2

■港町海岸通線



■北浜沢乙線



⑤

整備効果写真

その3

■地域案内板



■塩竈新駅上の原線



⑤

整備効果写真

その4

■本町四号線



■本町五号線



⑤

整備効果写真

その5

■本町六号線



■東参道周辺環境整備



⑤ 整備効果写真

その6

■土地区画整理事業



■しおかぜ通り線



⑤

整備効果写真

その7

■本塩釜駅前交通広場接続施設設置



■尾島町天神橋線グレードアップ



⑤ 整備効果写真

その8

■PRパンフレット・社会実験等

